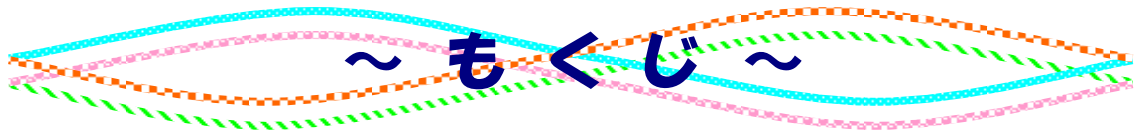


決算のポイント

～平成25年度版～



久留米市



まえがき ~平成25年度一般会計決算の概要 1

1. 平成25年度一般会計決算について

(1) 平成25年度一般会計決算の内訳について 2

(2) 平成25年度の主な事業 4

(3) 市の財政を家計簿に置き換えてみると 8

2. 久留米市の財政状況について

(1) 市税はどうなっているの 9

(2) 貯金はどれくらいあるの 9

(3) 借入金はどうなっているの 10

(4) 財政の健康状態をチェックしてみよう 12

(5) これからの久留米市の財政はどうなるの 15

本年度から作成いたしましたこの「決算のポイント～平成25年度版～」は、久留米市の財政状況や市の取り組みについて正しく分かりやすくご理解いただけるようにと、親しみやすい表現になるよう心がけました。

今後も引き続き、市民生活の向上や地域の浮揚など久留米市の将来を見据えた中長期的な課題の解決に取り組みつつ、健全な財政運営を行っていくためには、より一層の創意工夫と市民の皆様のご理解ご協力が必要であると考えております。

この冊子をご覧になり、本市の財政事情について知っていただくきっかけとなりましたら幸いです。

まえがき ～平成25年度一般会計決算の概要

◎平成25年度一般会計予算の変遷について

平成25年度の当初予算は、「市民一人ひとりを大切にする市政 安心、活力に満ちた久留米づくり」を市政運営の基本姿勢とし、「市民との協働」をまちづくりの基本的態度としながら、子育て支援や教育の充実による次代を担う人づくり、セーフコミュニティへの取り組みや災害対応力の強化などによる安全・安心な市民生活の確保、都市の求心力づくりや定住促進に向けた取り組みなど街の活力と賑わいの創出につながる事業を計上しました。

また、国の緊急経済対策を受け、地域の景気浮揚につながる事業を前倒しして計上した平成24年度3月補正予算とともに、国の「15ヶ月予算」に対応した積極型予算として編成しました。

その後、国が成長戦略の実行の加速化・強化等を実施するための「好循環実現のための経済対策」を打ち出したため、本市においても、これに対応した補正予算を計上し、最終的な平成25年度一般会計の予算額は、約1,406億円(当初予算比+11.9%)となりました。

◎平成25年度一般会計決算の特徴について

こうした予算の変遷の下、迎えた平成25年度一般会計決算は、

- ・ 国の「15ヶ月予算」に対応した積極型予算を編成した影響もあり、予算規模同様、前年度を上回る決算規模となりました。(＋2.8%)
- ・ 国の緊急経済対策に対応した結果、中核市で2番目の額となる「地域の元気臨時交付金」を獲得しました。(約44億円)
- ・ 普通建設事業費は、約21億円の増加となりました。
- ・ 景気の緩やかな回復傾向が見られ、市税収入が約11億円の増加となりました。
- ・ 平成24年度に引き続き、主要4基金の取崩しゼロを達成するとともに、財政調整基金の積立(約12億円)を実施しました。

などといった特徴があげられます。

これらの結果、歳入歳出の差引額は30億9千万円、これから平成26年度に繰り越すべき財源18億6千万円を差し引いた実質収支は、12億3千万円(昨年度比＋17.1%増)の黒字決算となりました。

1. 平成25年度一般会計決算について

(1) 平成25年度一般会計決算の内訳について

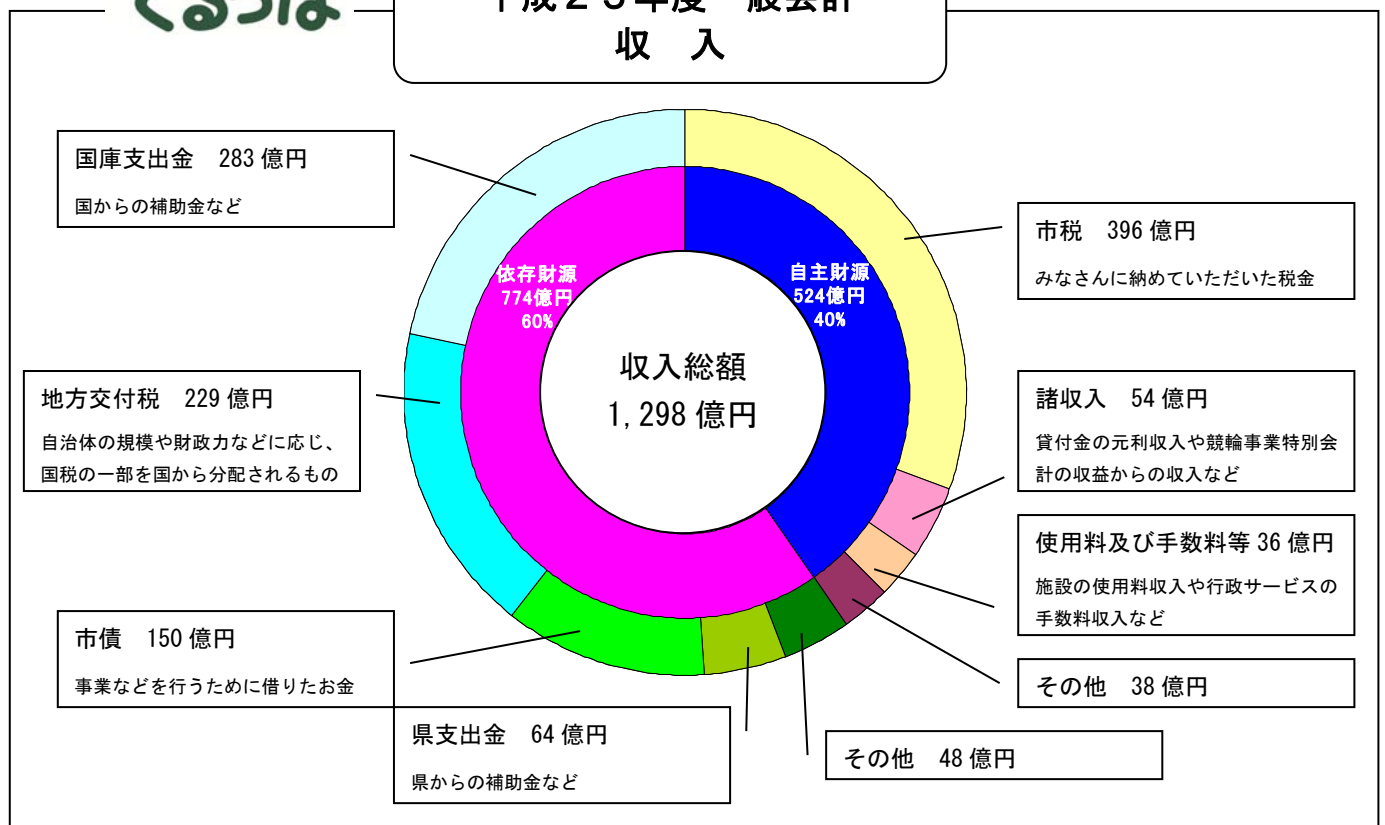
久留米市はどこからお金を集めてきて、何にお金を使っているのかな？
教えて！くるっば。



キラリ久留米宣伝課長のくるっばです。
それでは久留米市の平成25年度一般会計の収入と支出を見てみるっば



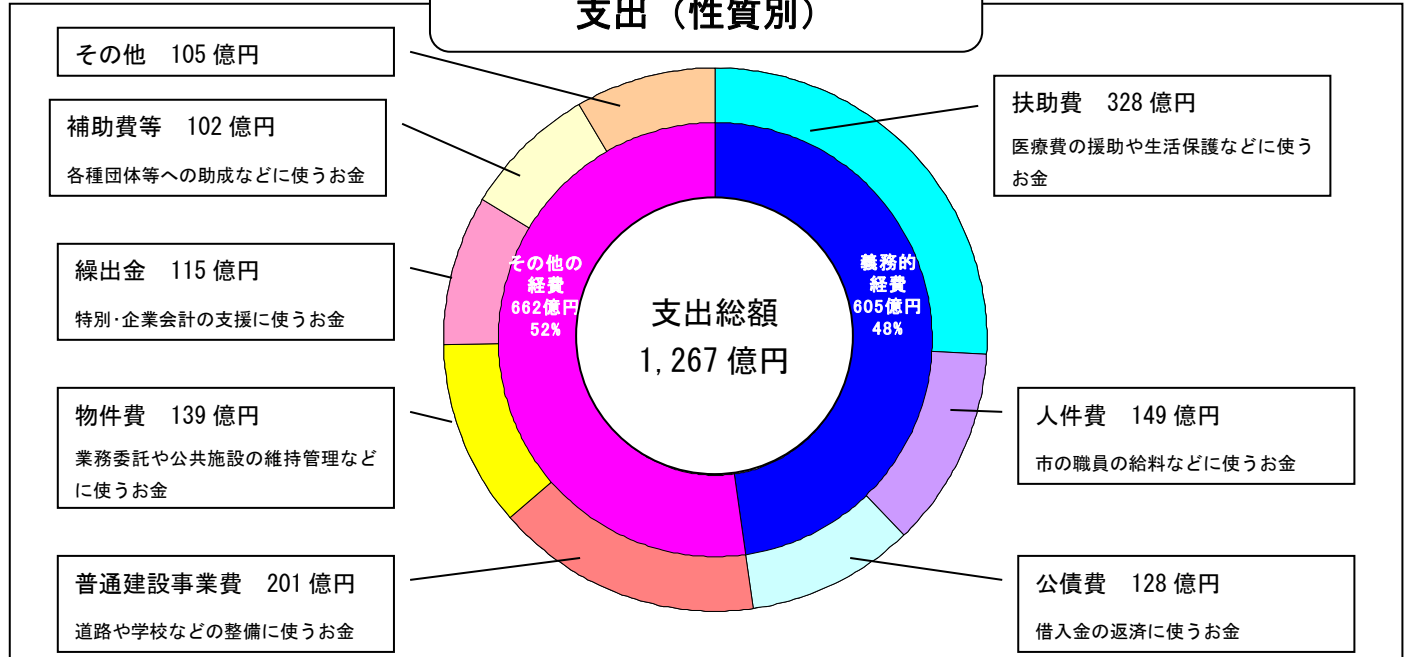
平成25年度一般会計 収入



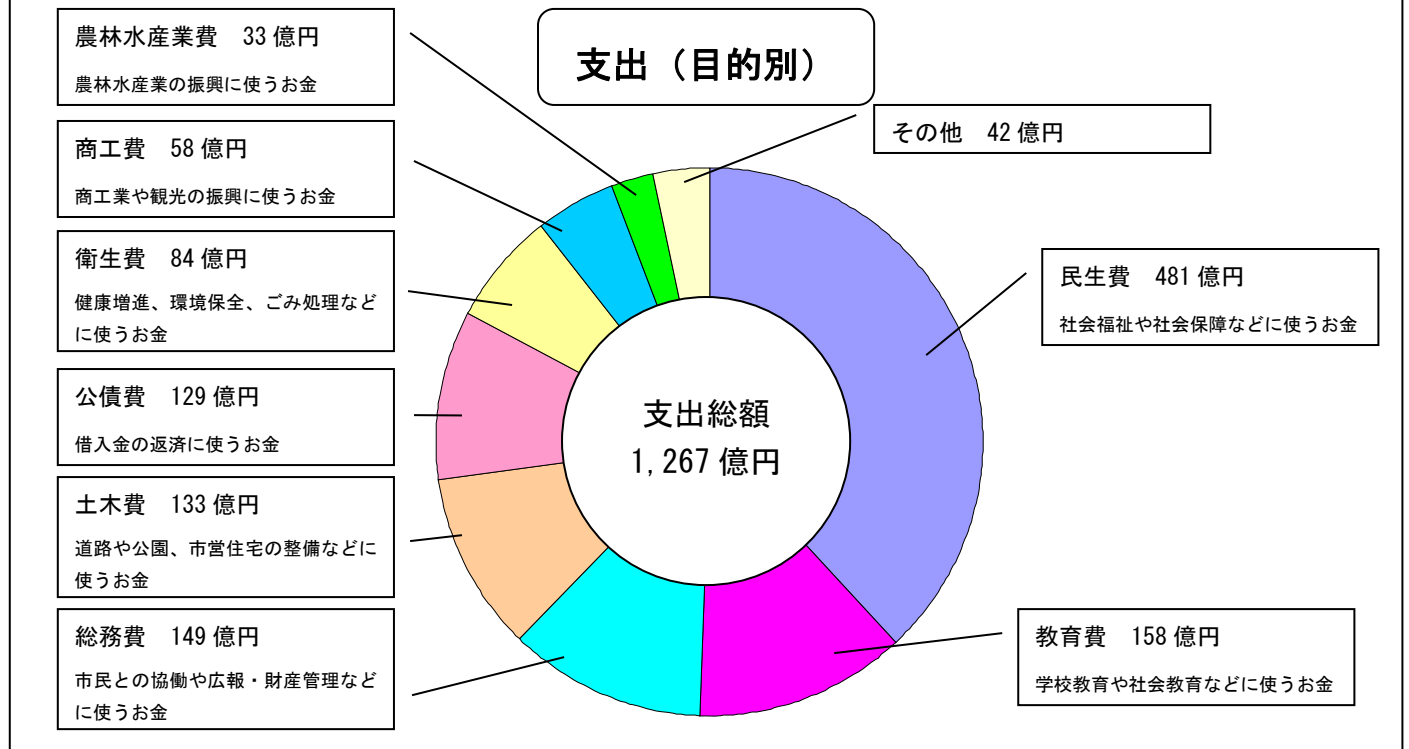
自主財源は、市が自主的に調達することができる収入のことで、依存財源は、国や県から交付または割り当てられる収入のことです。

久留米市では、自主財源よりも依存財源が多くなっています。これは自主財源の収入が比較的少ないこともありますが、市民生活に必要な事業を行うために、国や県の補助金を積極的に獲得しているためといった要因もあります。

平成25年度一般会計 支出（性質別）



支出（目的別）



支出（性質別）は、支出を経費の性質により分類したもので、支出（目的別）は、支出を行政分野の目的により分類したものです。

久留米市の平成25年度決算においては、義務的経費（扶助費・人件費・公債費）が全体の48%を占めています。この義務的経費の割合が高くなると、その他の経費に使えるお金が少なくなってしまうため、特色ある魅力的な事業を行うことが難しくなります。

(2)平成25年度の主な事業



平成25年度に行った主な事業を紹介するっば。

セーフコミュニティ推進事業

担当：協働推進部 安全安心推進課

平成25年度決算額 13,437千円

市民の皆さんとともに安全で安心なまちづくりを進める取り組みが評価され、世界保健機関（WHO）「セーフコミュニティ」国際認証を取得しました。



認証式典の様子

乳幼児等医療費助成

担当：健康福祉部 医療・年金課

平成25年度決算額 752,645千円
 <うち拡充分> <36,431千円>

乳幼児などの医療費の助成制度を拡充して、平成25年10月診療分から通院医療費の助成対象を小学校3年生までに拡大しました。



北部一般廃棄物処理施設建設事業

担当：環境部 建設課

平成25年度決算額

508,400千円

ごみ処理とリサイクルの拠点として宮ノ陣町八丁島に整備を進める北部一般廃棄物処理施設は、本格着工の準備として、敷地の造成や仮設道路の整備などを行いました。



完成イメージ



整備が進む工事現場

久留米市世界のつばき館整備事業

担当：農政部 みどりの里づくり推進課

平成25年度決算額

166,526千円

久留米市の特産品で観光資源でもあるツバキに焦点を当てた「久留米市世界のつばき館」を草野町に整備しました。



世界のつばき館には日本最多の原種ツバキが展示されているっば。みんなも是非遊びに来てね♪

外環状道路整備事業

担当：都市建設部 広域道路対策課

平成25年度決算額

1,583,257千円

中心市街地の渋滞緩和や九州自動車道までのアクセス向上など、市内の交通環境の改善が期待される都市計画道路「東合川野伏間線」が完成しました。



小中学校空調機整備事業

担当：教育部 学校施設課

平成25年度決算額

65,015千円

市立小中学校の全ての普通教室に空調機を設置するための設計業務を行いました。

中学校は平成26年度夏季からエアコンが使える、小学校では平成26年度中に取り付けが完了する予定です。



これで夏の暑い日でも勉強に集中できるっば！



久留米シティプラザ関連事業

担当：市民文化部久留米シティプラザ推進室

平成25年度決算額	3,847,688千円
-----------	-------------

文化施設、コンベンション施設、そして中心市街地活性化の役割を担う中核的施設として六ツ門地区に整備を進める久留米シティプラザは、大型の建物を支える基礎工事を行いました。

また、平成28年春の開館に向けて、久留米シティプラザへの愛着と期待感を高めてもらえるプレ事業を行いました。



完成イメージ



整備が進む工事現場

出前公演の様子



プレ事業では、街なかプチコンサートや出前公演など
さまざまなイベントがたくさん。
情報紙「まち×プラ」を見て、みんなも参加するっば！

(3)市の財政を家計簿に置き換えてみると



平成25年度の一般会計の決算を、年収500万円の家計簿に置き換えてみるとこのように見えるっば。

家族の医療費にたくさんのお金がかかっているね。給料や各種手当だけでは、生活費（支出）には足りないね。
食費や光熱水費を節約しているけど、親からの支援や借入れをしなければならないんだね・・・



収入		支出	
・給料 (市税)	153万円	・食費 (人件費)	57万円
・各種手当 (地方交付税、交付金)	106万円	・光熱水費 (物件費)	59万円
・親からの支援 (国県支出金)	134万円	・家族の医療費 (扶助費)	126万円
・貸家収入 (使用料・手数料)	36万円	・家族へのお小遣い (補助費等、貸付金)	55万円
・借入金 (市債)	58万円	・子どもへの仕送り (繰出金)	44万円
・預金の取崩 (繰入金)	5万円	・ローンの返済 (公債費)	49万円
・昨年度の残金 (繰越金)	8万円	・家のリフォーム・車の購入 (投資的経費)	79万円
		・貯金 (積立金)	19万円
合計	500万円	合計	488万円
		・今年度の残金 (収支差引)	12万円
※借入金残高 (市債現在高)	487万円	※預金残高 (基金現在高)	108万円
うち実質的な借入金残高	142万円		



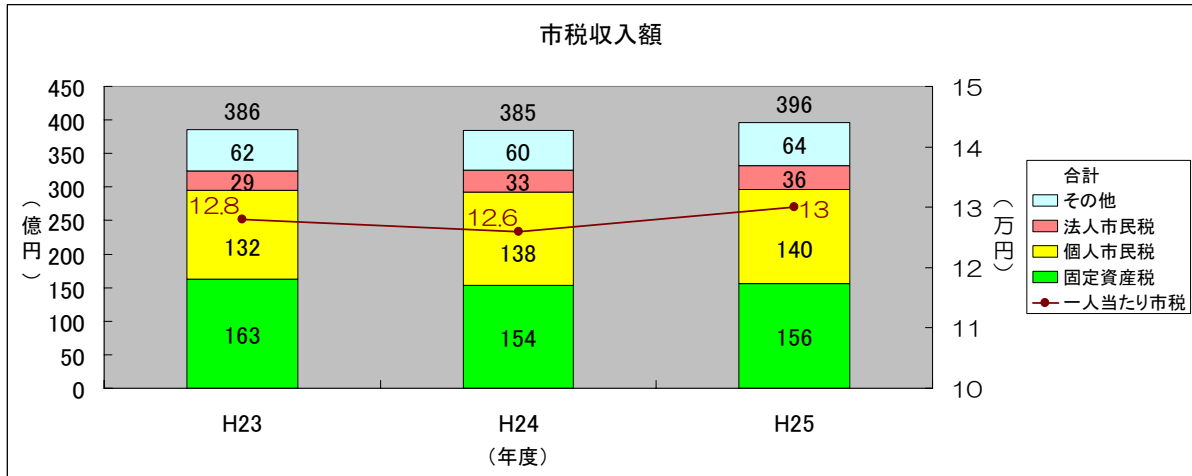
ねえねえ、くるっば。
「うち実質的な借入金残高」ってどういうこと？

実質的な借入金残高については、10ページの『(3)借入金
金はどれくらいあるの』に詳しい説明をしているっば。
そちらも読んでみてね。



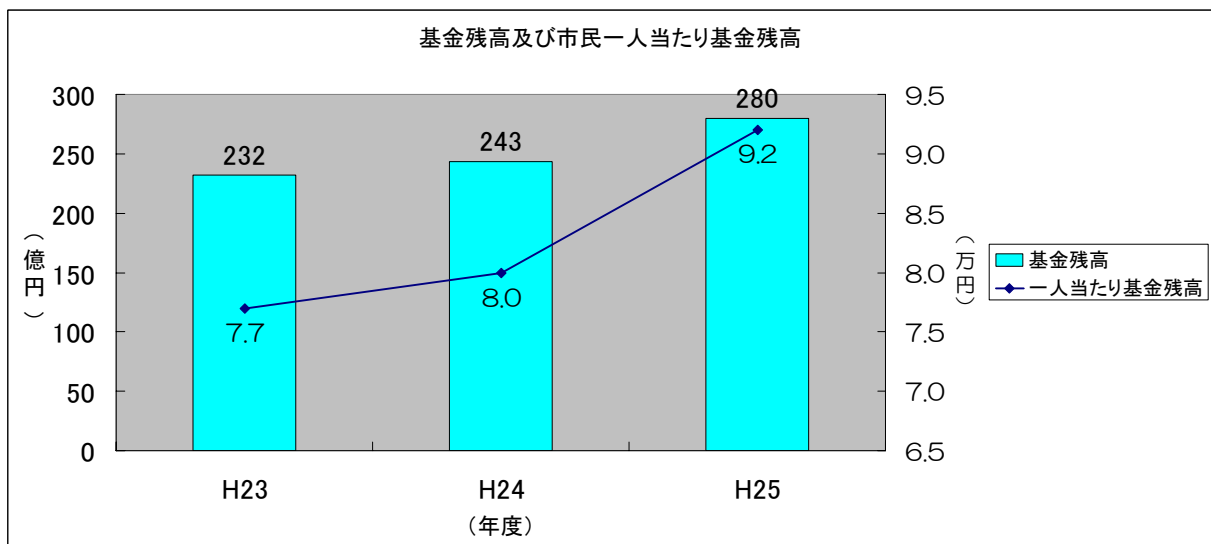
2. 久留米市の財政状況について

(1) 市税はどうなっているの



平成25年度の市税は396億円で、市民一人当たりになると、13万円になります。土地・建物などにかかる固定資産税が市税全体の40%を占めています。

(2) 貯金はどれくらいあるの

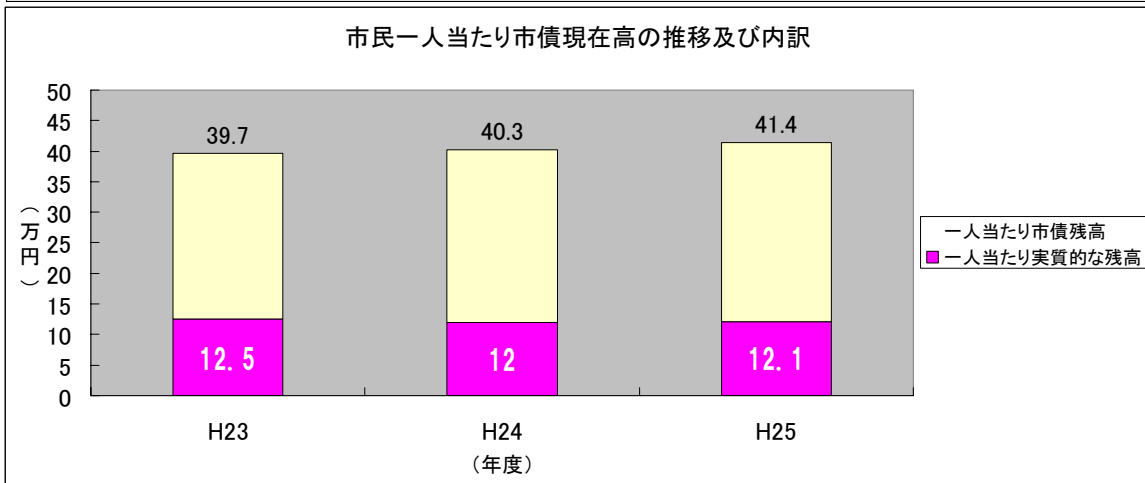
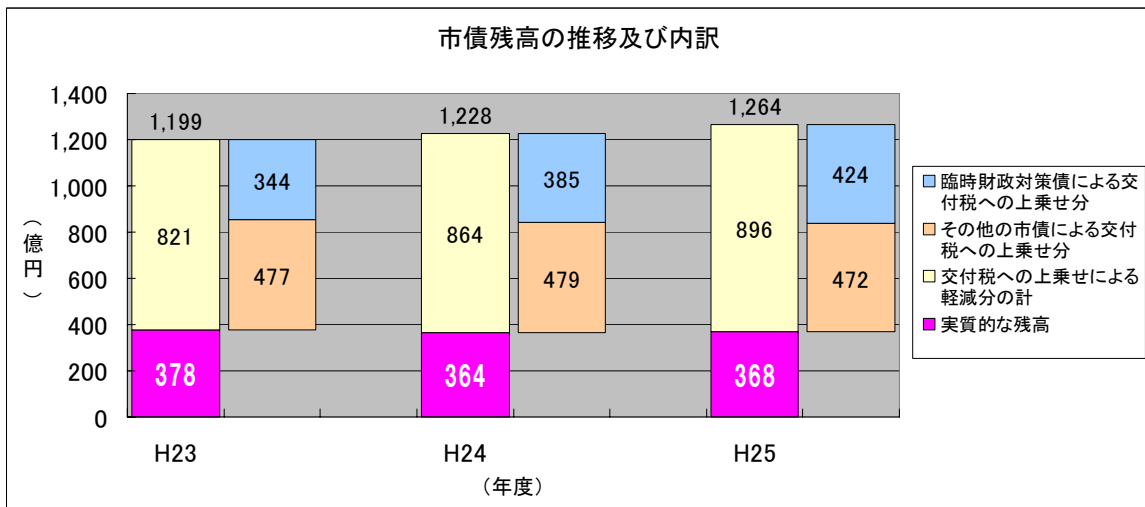


平成25年度末の基金残高は280億円で、市民一人当たりになると、9.2万円になります。

平成20年度以前は基金残高が減少していましたが、それ以降は増加に転じています。

市では、将来、財政状況が厳しくなっても急激なサービスへの影響がでないような財政運営を行うために、財政調整基金への積み立てを行っています。

(3) 借入金はどれくらいあるの



久留米市がお金を借りるときには、市債を発行します。平成25年度末の市債残高（借入金残高）は1,264億円で、市民一人当たりになると、41.4万円になります。

これらの市債残高（借入金残高）の中には、返済額の一部が、国から交付される地方交付税の配分に乗せられるため、市の負担が軽減されるものがあります。

地方交付税への上乗せによる負担の軽減分を除いた実質的な市債残高（借入金残高）は368億円で、市民一人当たりになると12.1万円になります。

久留米市では、お金を借りるときには、なるべく地方交付税への上乗せがある有利な借り入れを行うよう努力しているため、実質的な市債残高が低く抑えられているという特徴があります。

今後もお金を借りるときには、有利な借り入れを行い、市の負担がなるべく少なくなるような財政運営に努めます。



市債は、原則、建設事業関係の経費に充てるときにしか発行できないっば。これは法律で決められているっば。

だから赤字の穴埋めをするために、むやみにお金を借りることは出来ないんだよ。

でも借入金をしないで、建設事業をすることは出来ないの？



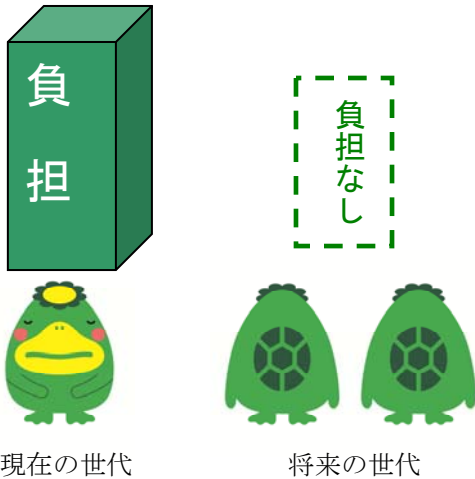
市では、道路や公園、学校のような公共施設などを作るときには、その年度に収入した市税だけではなく、市債を発行してその資金を用意します。

作られた施設は、今後長い間利用でき、現在の世代だけではなく将来の世代にもそのサービスを提供することになります。

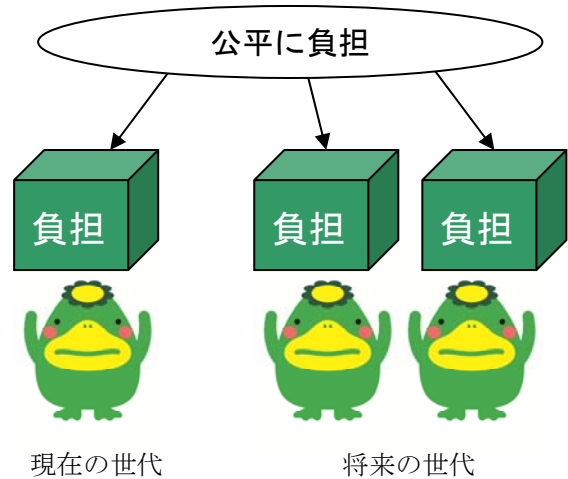
したがって、施設を作る資金の一部を市債で用意し、将来にわたってその返済を行うことで、現在の世代の市民だけではなく将来の世代の市民にも、施設を作る費用を公平に負担してもらっているのです。

また、市では施設を作るときには、国や県などからの補助金をもらい、なるべく市税や市債での負担が少なくすむように工夫をしています。

市債を発行しない場合



市債を発行する場合



このようにして作られた道路や公園、学校のような公共施設などの公共資産は、約3,775億円※と評価されるっば。

市民一人当たりになると、約125万円になるっば。



※平成23年度決算にかかる財務書類（貸借対照表（普通会計））より

(4) 財政の健康状態をチェックしてみよう



ところで、くるっば。
久留米市の財政って健康なの？



全国の自治体が公表する法律で決められた指標
があるから、それを見てみるっば。

健全化判断比率

この基準を超えると
イエローカード

この基準を超えると
レッドカード

指標	H23	H24	H25	早期健全化 基準	財政再生 基準
実質赤字比率 (%)	-	-	-	11.25	20.0
連結実質赤字比率 (%)	-	-	-	16.25	30.0
実質公債費比率 (%)	4.3	3.9	3.7	25.0	35.0
将来負担比率 (%)	20.7	9.1	4.5	350.0	

※「実質赤字比率」「連結実質赤字比率」の「-」は、赤字が生じていないことを示しています。

資金不足比率

この基準を超えると
イエローカード

会計	H23	H24	H25	経営健全化 基準
水道事業	資金不足額 なし	資金不足額 なし	資金不足額 なし	20.0
簡易水道事業				
下水道事業				
農業集落排水事業				
特定地域生活排水処理事業				
中央卸売市場事業				
地方卸売市場事業				



久留米市は「健全化判断比率」も「資金不足比率」もイエローカ
ードの基準を下回る健全な財政運営を行っているっば！

「健全化判断比率」と「資金不足比率」は地方公共団体の財政の健全化に関する法律に定められた、地方公共団体の財政状況の健全度を示す指標です。

○健全化判断比率

【実質赤字比率】

一般会計等に生じている赤字の大きさを、市が自由に使い道を決めることのできる収入の大きさ（標準財政規模）に対する割合で表したものの。

【連結実質赤字比率】

公営企業である水道事業を含む市の全会計に生じている赤字の大きさを、標準財政規模に対する割合で表したものの。

【実質公債費比率】

市債の返済額やそれに類する支出など実質的な公債費の大きさを、標準財政規模から市債の返済額として地方交付税に上乗せされた額を差し引いた規模に対する割合で表したものの。

【将来負担比率】

市債や第三セクターの負債など、地方公共団体が将来負担すべき実質的な債務の大きさを、標準財政規模から市債の返済額として地方交付税に上乗せされた額を差し引いた規模に対する割合で表したものの。

○資金不足比率

公営企業の資金不足の大きさを、公営企業の事業の規模に対する割合で表したものの。

◆早期健全化基準

4つの指標のうち、1つでもこの基準以上となった地方公共団体は、「早期健全化団体」となり、財政健全化計画を策定して自主的な財政の健全化を図ることになります。いわゆる「イエローカード」の状態であるといえます。

◆財政再生基準

将来負担比率を除く3つの指標のうち、1つでもこの基準以上となった地方公共団体は、「財政再生団体」となり、財政再生計画を策定して国の監督下で財政再建を図ることになります。いわゆる「レッドカード」の状態であるといえます。



久留米市の比率を他の中核市42市と比較（※）すると、実質公債費比率は5番目、将来負担比率は8番目に健全な値だったっぱ。（※）平成25年度（速報値）の比率での比較

こういう指標があると、他の団体と簡単に比較できるね。

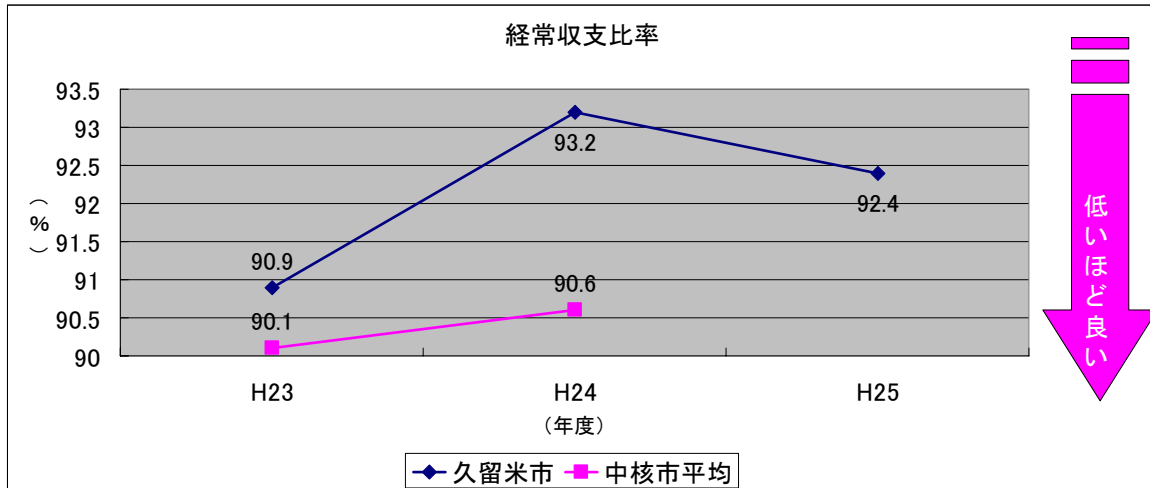


財政の健康状態を知るための他の指標はないのかな？



他の指標も聞いたことがあったような・・・

○経常収支比率

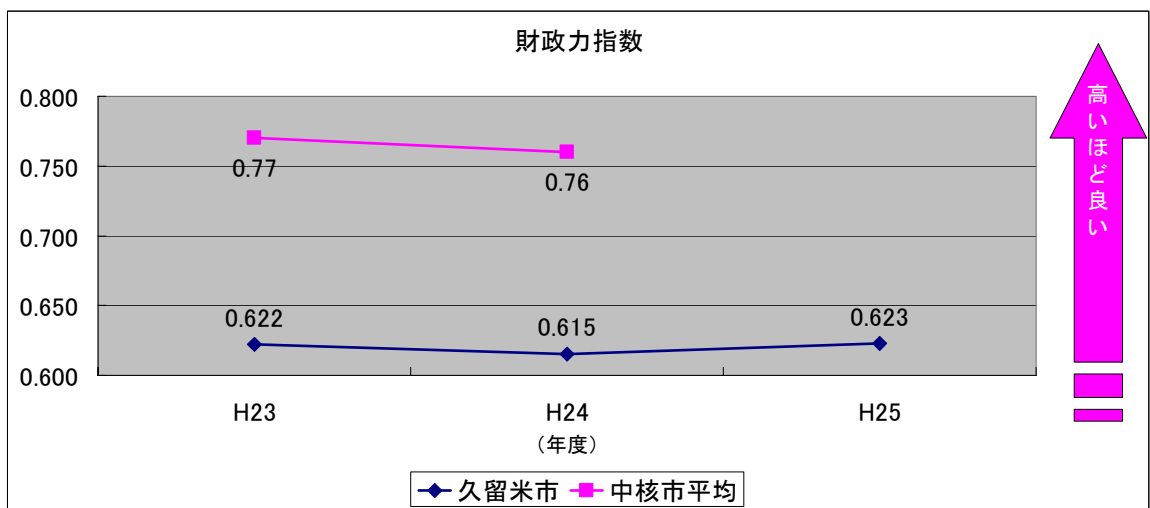


経常収支比率とは、毎年度固定的に支出される経費が毎年度安定的に確保される収入に対してどのくらいになっているかを示す比率です。

この比率が低いほど柔軟な財政運営ができる状態にあるということになります。

久留米市の経常収支比率は、中核市平均と比較すると高く、柔軟な財政運営が出来にくい状態であると言えます。

○財政力指数



財政力指数とは、地方公共団体の財源がどのくらい余裕をもっているかを表す指標です。この指標が高いほど財政力が強いということになります。

この指数が1を超える団体には、地方交付税は交付されません。

久留米市の財政力指数は、中核市平均と比較すると低く、地方交付税などに頼った財政運営を行っている状態であると言えます。

(5) これからの久留米市の財政はどうなるの

久留米市の財政は将来もずっと安心して
いられるのかなあ…？

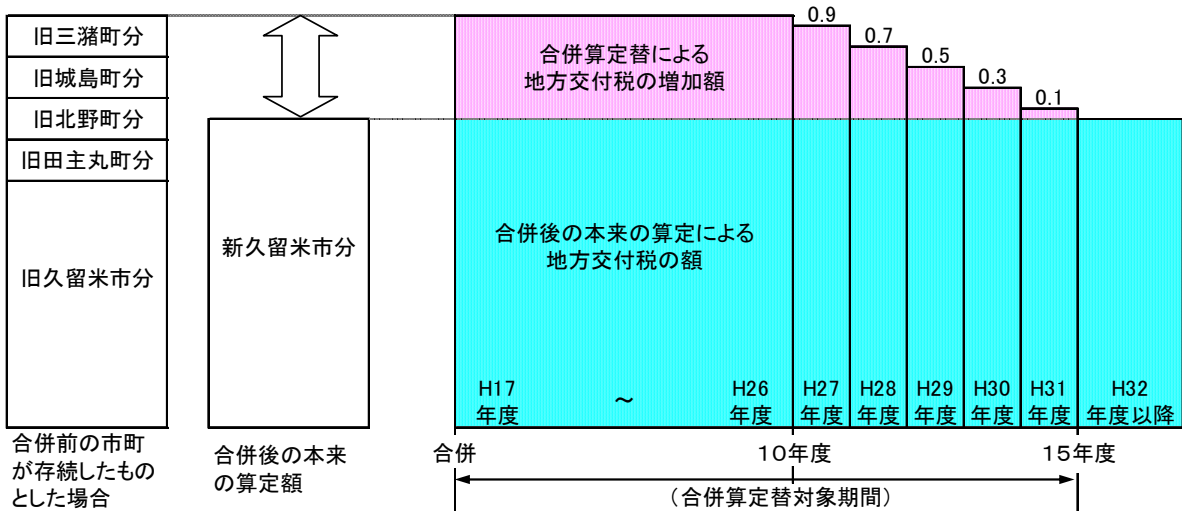


久留米市は平成17年2月に合併をしたから、国からのさまざまな
財政上の支援策を受けているっば。

これらの支援策は合併後10年を迎えるとその恩恵が少しずつ減
らされる仕組みになっているっば。

合併市町村に対しては、合併算定替という地方交付税の増額支援が行われています。
合併算定替の効果は、合併後10年間は100%受けられますが、それ以降は、増額支
援の効果額が5年間で年々減少する仕組みになっています。

平成25年度の久留米市の合併算定替の効果額は約36億円です。久留米市は平成26年
度で合併後10年を経過しますので、平成27年度以降この増額措置の効果額が減少して
いき、平成32年度にはその効果は無くなります。



平成25年度の効果額から単純に計算すると、平成27年度
には3.6億円減少、28年度には10.8億円の減少となっ
て、平成32年度には36億円の減少ということになるっば。

8ページの家計簿に置き換えてみると、平成32年度には約
14万円の収入が減少することになるっば。



そんなに収入が減ったら、なんだか厳しそうだけど、何か対策をしているのかなぁ・・・？

久留米市では合併算定替の増額支援が終わっても健全な財政を保てるように、様々な行財政改革への取り組みも行っているっば。



○行財政改革への取り組み

久留米市では、事務の効率化や経費削減などを図るため、これまでごみ収集や学校給食など各種業務の民間委託化や、保育園やガス事業の民間移譲など、様々な行財政改革に継続的に取り組んできました。

現在は、「久留米市行政改革行動計画（平成22～26年度）」に基づき、「スリムで質の高い市役所づくり」を目指し、経費削減などの「量の改革」と、行政サービスの向上などの「質の改革」に向けた具体的な取り組みを進めています。

今後、市の行財政を取り巻く環境が厳しくなっていく中でも、市民生活に必要なサービスの提供と将来に向けたまちづくりを進めるため、より一層の事業の選択と集中を進めるとともに、歳入確保の取り組みにも最大限努めるなど、これまで以上に徹底した行財政改革に取り組んでいきます。



民間委託で行う学校給食調理業務



これからも

「一人ひとりを大切に 安心、活力に満ちた久留米づくり」

に向けて、がんばっていくっば。

市民の皆さまのご理解とご協力をお願いするっば！

